

『国造ゆずの里』整備に向けた 活動拠点づくりと特産物の企画開発

能美柚ゆうゆう倶楽部

☆はじめに☆

私達の「能美柚ゆうゆう倶楽部」は 3 年前に 能美市の国造ゆずとゆず生産農家の集まりである国造柚子生産組合を 応援と PR するために産声を上げました。

会員は 柚子生産組合の皆さんと ゆずを消費する主婦や伝統食などを研究する先生などや活動を応援してくれるゆずサポの方々合計40名で構成されています。

結成一年目は 柚子生産組合と活動と一緒にして消費者としての立場から、どうお手伝いすれば国造ゆずの消費拡大と後継者に繋がっていくかを模索しながら活動しました。

二年目はゆずに関する教室の開催やイベントへの出店等に加え、会員の皆様にゆず畑に足を運んで頂くことによって国造ゆずを身近に感じ、そして愛してもらえる活動に取り組みました。

一年目の時に柚子果汁の製品を作る際に出るゆず皮を大量に捨てていたのを見て(産廃として)これを組合より譲り受け、ゆずジャムやゆず加工品として教室や出店等で使わせて頂きました。地道な活動が実って その年の柚子まつりには会場に入りきれないくらいの方々が訪れて下さり準備したゆずは完売となりました。

三年目の今年度はこれまでは外に対しての宣伝や発信ばかりだったのを改め、もっと地元の国造地区の方々との協働作業や地元に着した活動ができないかと考えました。

そんな時にこの事業の有ることを知り、事業内容の活動拠点づくりと特産物の企画開発について会員の皆様、柚子生産組合の方や行政にも相談して取り組みをすることに同意を得ました。

◆平成 26 年度の事業内容

- 1 「ゆず大学」の開催(第 4 回 4/20 第 5 回 8/30)
- 2 「ゆず高校」の開催(全 3 回 5/27 6/18 12/15)
- 3 「ゆうサポ新聞」の発行(全 6 回)
- 4 「ゆうサポ」と柚子生産者が協働でおこなうプログラムの実施(全 5 回)
- 5 特産物の企画開発(ゆずポン酢 ゆず緑茶 ゆずピール、ゆずかきもちなど)

主な活動報告(事業成果)

1 ゆず大学 (第 4 回 第 5 回)

第 4 回は 国造に伝わる昔話のかたりや 柚子の効能のお話。お昼は国造の山に囲まれて美味しい空気をいっぱい吸いながらの地元特産品満載のお食事を楽しみました。

地元の食材とゆずを使ってのお弁当 柚子生産組合の奥様手作りのおはぎや漬物など遠方からいらした方々も とても満足していただきました。

第5回は高知県よりまちづくり事業を次々と展開されている、畠中智子先生をお呼びしました。ワークショップを行い、まちづくり事業での自分達のまちは自分達で考える。特産品開発では国造ゆずの価値観を見つけ出し、共有し、ここにしかないものを作り出す事を始め、地元ならではの商品開発の発想などのノウハウを教えて頂きました。特産品開発の動機づけとして、大変参考になりました。



2 能美市の寺井高校とのゆず高校(全3回)

地元の寺井高校の生徒や先生方との三回の共同活動のおかげで ゆず料理コンテストに応募してもらったり 活動拠点にしていこうとしている『のみにこまつり』では お茶会を開催してくださり、国造ゆずのコラボ菓子とお抹茶のセットを考えてくれました。

3 『ゆうサポ新聞』の発行(全6回)

フェイスブックやブログを見れない方々への発信として「ゆうさぽ新聞」の発行を行いました。国造ゆずのイベント活動やゆず製品の販売店情報なども入れて 身近に感じてもらうものです。ゆうサポ会員になってくださった方々には 定期的にゆず畑の手入れやゆずの保存加工を始め、柚子まつりやゆず料理コンテストのお手伝いをさせていただきました。

4 ゆず生産者と地元の方々やゆうサポ会員との協働活動

ゆうサポ会員とのゆずミーティング(全5回)

☆地元の星稜大学生との活動

星稜大学のゼミ生の協力を得て、地元企業とのコラボ商品開発(直源醤油ゆずポン酢)
同じくゼミ生には柚子まつりのお手伝いをお願いしました。

寺井高校性にはゆず料理コンテスト応募や柚子菓子お茶会を企画して頂きました。



ゆうサポ会員の皆さん



生産組合や星稜大学生の皆さん

☆事業反省

拠点作り

拠点作りは結果として地元の能美市が開設した新「のみにこに」(まちづくりセンター)を利用することとなりました。当初は町内の廃止となった施設の利用を考えておりました。町会から常時管理者がいないこと、火の利用及び後始末等についての課題について提議が有り、利用を断念致しました。市からは新たなまちづくりセンターの利用について問題無いとのことで利用申し込みを行うこととなりました。会合、イベントの開催や倉庫機能の利用も了解を得ました。

特産品開発

特産品開発は柚子生産組合・消費者・地元企業に大学生や高校生等広範な方の協力を得て廃棄物の再利用等による多くの商品を出すことが出来ました。

ゆずトートバッグ ゆずTシャツ
 ゆずと紫蘇と梅シロップの飲み物
 ゆずスムージー(地元のスイカ皮
 イチジク トマト他野菜などいれて)



ゆず茶製品



事業全般

一年間の活動を終えて

今回 貴協会に採択して頂き可能性が広がりましたおかげで継続した活動に加えて 拠点づくりと 特産物の企画開発にも積極的に進めていくことができました。

拠点づくりは 最初につまづいた為 採択の件は あきらめようかとも考えたのですが どうしても当初の時から 廃棄のゆず皮の可能性をもっと広げたいと思っていたのと 地元の農業をされる方々とも 繋がっていきかけたので 進んでいこうと頑張りました。

能美市との協議でまちづくりセンターを会合・イベントや倉庫としても活用できることとなりました。

結果的に 全事業を 100%とは言えませんが どうにか 満足のいくものとなりましたこと ほっとしています。

4月からは 今までと同じことをしては 倶楽部として前進していかないので もう一つの課題の ゆず畑の継承(後継者)に焦点を当てて 活動も始めていこうと考えています。